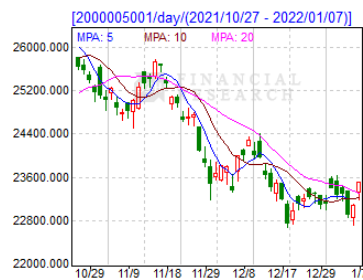




【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	21年末株価
NYダウ	36,231.66	-4.81	-0.01	-0.29	-0.29	36,338.30
NASDAQ	14,935.90	-144.97	-0.96	-4.53	-4.53	15,644.97
日経225	28,478.56	-9.31	-0.03	-1.09	-1.09	28,791.71
上海総合	3,579.54	-6.54	-0.18	-1.65	-1.65	3,639.78
滬深300 (CSI300)	4,822.37	4.14	0.09	-2.39	-2.39	4,940.37
ハンセン	23,493.38	420.52	1.82	0.41	0.41	23,397.67
中国企業	8,231.28	162.35	2.01	-0.06	-0.06	8,236.35

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.4%高と3週続伸、上海総合指数は1.7%安

香港市場ではハンセン指数が週間で0.4%高と3週続伸した。米国の金融正常化の前倒しや新型コロナの感染拡大による景気の先行き懸念が重しとなったが、週末7日に中国政府が不動産企業に対する負債規制を緩和する方針と報じられ、不動産企業への警戒感が和らいだことで反転する展開となった。本土市場は3日が正月連休のため4日間の取引。上海総合指数は4日間で1.7%安と反落した。新型コロナの感染拡大への警戒感が重しとなり、年明け4日から週末7日まで4日続落。節目の3600ポイントを割り込んだ。

今週の展望:香港市場は一進一退の展開か、中国政府の政策支援期待が支えに

香港市場は一進一退の展開か。米国で早期利上げ観測が高まっていることに加え、世界で新型コロナの変異株「オミクロン株」の感染が拡大。中国でも新規感染が高止まりの状態にあり、香港では旅客機の乗り入れ制限や夜間の外出禁止など防疫措置が8日から強化されている。中国政府による景気対策への期待が相場の下支えとなるのが予想されるものの、新型コロナの感染拡大と米国の早期利上げを意識した値動きが続くそう。本土市場も好悪材料が入り交じるなか、一進一退の展開が予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国海外発展(00688)	22.20	20.26
2 華潤置地(01109)	36.20	10.37
3 中銀香港(02388)	27.90	9.20
4 龍湖集團(00960)	40.05	9.13
5 中国平安保險(02318)	61.10	8.82
6 アリババ集團(09988)	128.80	8.33
7 中国中信(00267)	8.30	7.79
8 シベック(00386)	3.91	7.71
9 中国生物製薬(01177)	5.86	7.33
10 CNOOC(00883)	8.59	6.97

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 碧桂園服務(06098)	40.35	-13.60
2 藥明生物技術(02269)	80.75	-12.75
3 李寧(02331)	75.90	-11.07
4 舜宇光学科技(02382)	222.40	-9.81
5 美团(03690)	204.00	-9.49
6 信義光能(00968)	12.04	-8.93
7 吉利汽車(00175)	19.44	-8.73
8 安踏体育用品(02020)	107.80	-7.78
9 新奥能源(02688)	135.80	-7.49
10 BYD(01211)	247.20	-7.28

▼今週の主なイベント

- 1月12日(水)
 - 【中国】物価統計(12月)
 - 【米国】CPI(12月)
- 1月14日(金)
 - 【中国】貿易統計(12月)
- 1月15日(土)
 - 【中国】全国70都市不動産価格(12月)

▼今週の期待材料

- ◆中国政府が経済の安定成長重視に軸足、3月の全人代までは景気下支え策への期待が高まる公算
- ◆中国で不動産会社に対する引き締め緩和の動き、国有企業による不動産プロジェクトの買収も政府が後押し
- ◆A株上場企業の21年本決算業績見通しで52社が純利益倍増を予想、5社は純利益10倍超に

▼今週の懸念材料

- ◆世界で新型コロナの変異株「オミクロン株」の感染が拡大、中国でも感染高止まりで景気の先行きに警戒感
- ◆13-14日に米国で12月の物価指標発表へ、予想より強い内容なら早期利上げ観測が高まる可能性も
- ◆中国で医薬品集中調達制度の拡充方針を決定、医薬品の値下がりが進めば製薬会社の収益悪化要因に

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中国南方航空 (01055) : A株第三者割当増資計画を中国証券監督管理委員会が受理
- ☆ 安踏体育用品 (02020) : 北京冬季五輪が2月4日に開幕、関連銘柄に期待高まる公算
- ☆ 中国聯塑 (02128) : 太陽光発電関連の新会社を設立、太陽光発電関連に業容拡大
- ☆ 申洲國際集團 (02313) : コロナ対策レベル引き下げで寧波市の一部工場が生産再開
- ☆ 広州白雲山医薬 (00874) : 21年下期に総額2.4億元の補助金を獲得
- ★ 東風汽車集團 (00489) : 12月の新車販売台数が25%減少、21年通期では3%減
- ★ 裕元工業 (00551) : 12月の純売上高が2%減少、21年通期では1%の微増
- ★ 中国人寿保險 (02628) : 中国当局が王濱会長を重大な法規違反の疑いで調査
- ★ 遠洋集團 (03377) : 12月の不動産販売額が32%減少、販売面積は33%減
- ★ ウェイボー (09898) : アリババ集團の張会長が10日付で取締役を辞任

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。